

3.専門分野－3) 教授内容

## (4) 成人看護学

## 成人看護学構築の考え方

成人期は、ライフサイクル上、人生の重要な部分を占める時期であり、社会的に大きな役割と責任を持つ年代である。また、親から独立し、家庭を築き、子どもの育成や親世代の介護の役割も担っている。

対象者の個別性を理解するためには、社会的自立を求められながら生活し、健康を阻害する要因が増えるこの時期の特性を理解する必要がある。現代社会では様々なストレスが交錯し、健康に大きな影響を及ぼす。社会的に重要な責任を担う成人期においては、健康障害が発生しても生命に直接的にかかわらない限り、社会的責任を優先することで検査・治療に結びつかない場合もある。疾患も完治するものばかりではなく、生活習慣病のようにその病気と上手く付き合うことにより、実質的に健康な状態を維持し生活することができるようになってきている。そして国民の健康に対するニーズは、障害を持っても生活の質を向上させるものへと変化してきている。このような状況の中で変革してきたわが国の健康政策の動向を理解していく必要がある。更に、現代社会は情報が氾濫しており、自分にとって必要な情報を取捨選択する能力も求められている。

こうした背景から、成人看護学においては予防や健康政策、健康教育、セルフマネジメントおよびリハビリテーションといった視点が重要となっている。さらに、健康障害の予防、回復・改善、悪化の防止、また、障害を持ちながらもクオリティ・オブ・ライフを高くその人らしい生活を送るための看護援助について必要な知識・技術・態度を身につける必要がある。そのためには、看護師は、人間を尊重する精神を基盤として、対象の疾患のみではなく、社会的役割、家庭内における役割、対象の家族に対するサポートなどについても目を向け、思いやりの態度を持って対象及びその家族へ援助する能力を持たなければならない。

以上の観点から、成人看護学は、現代の成人期にある人の特徴とそれらの人が抱える健康問題を理解し、必要な看護の概念と倫理的態度について学ぶ成人看護学概論、対象の健康問題および機能障害の理解と援助方法を学ぶ成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲで構成する。

成人看護学概論では、成人看護のアプローチの基本としての成人教育学、成人の健康生活を促すための看護技術であるセルフマネジメントの推進、治療過程にある患者への看護技術、症状マネジメント技術等をはじめ、生命の尊厳と相手に対する思いやりを含む倫理的態度について学ぶ。各方法論においては、基礎看護学を基盤として、方法論ⅠⅡ・Ⅲで器官系統別に障害をもつ成人の看護を学ぶ。

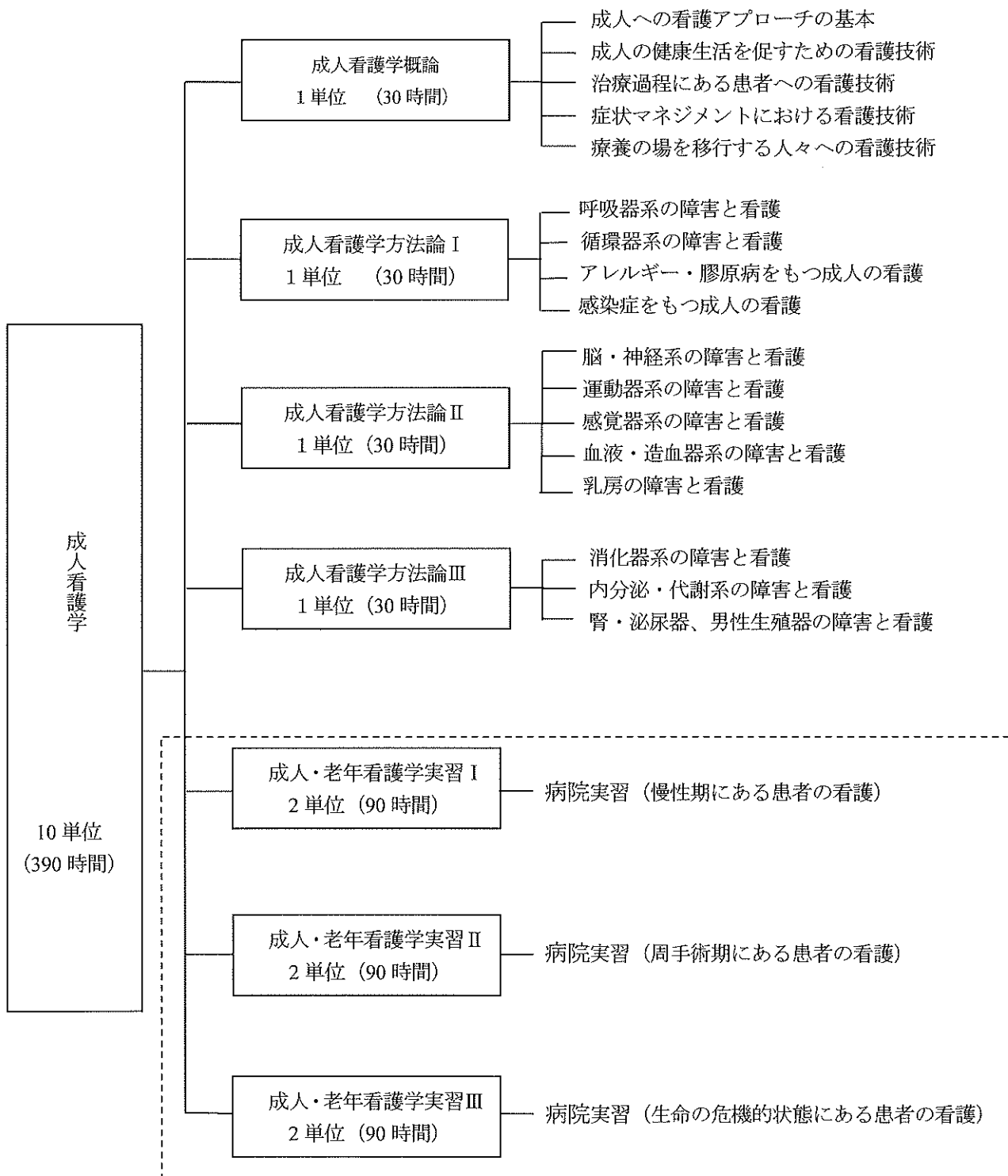
### 成人看護学の目的

成人期にある人々の特徴とその課題を理解し、健康に影響する様々な因子を知り、個人とその家族の健康上の問題解決に必要な看護実践能力が修得できる。

### 成人看護学の目標

1. 社会環境と影響し合いながら生活している、成人期にある人々の特徴と課題が理解できる。
2. 成人期にある人々の健康に影響する諸因子を理解し、成人保健の必要性が理解できる。
3. 成人保健の動向を知り、健康な生活を維持・増進するための看護の役割が理解できる。
4. 成人期における疾病とその経過をふまえ、健康障害に伴う諸問題を知り、健康状態に応じた看護実践の必要性が理解できる。
5. 健康が障害された状態にある成人期の人々を全人的に理解し、個人に応じた看護問題に対する解決能力を身につけ、実践に応用できる知識・技術・態度が修得できる。
6. 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割、機能を理解し、連携・協働できる能力を身につける。

## 成人看護学の構成と科目のねらい



※成人・老年看護学実習 I・II・IIIは、老年看護学実習と共通項目として実施する。

授業科目	成人看護学概論	講師名	境 敏一	単位 1 単位	時期 1 年次後期
				時間 30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師		
科目目標 1. 成人期の特徴を理解し、対象に合わせたアプローチの基本を理解する。 2. 看護実践における倫理的課題へのアプローチを考えられる。 3. 患者のセルフマネジメントを推進する看護技術を理解する。 4. 成人の健康生活を促すための看護技術を理解する。 5. 治療過程にある患者への看護技術を理解する。 6. 症状マネジメントにおける看護技術を理解する。 7. グループで協同し、探究的に課題を解決できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 成人の特徴 2. 成人への看護アプローチの基本 1) 生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2) 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係	講義	境
2	3) 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 4) 意思決定支援 5) 看護におけるマネジメント	講義	
3	6) 看護実践における倫理的判断 【GW：看護実践における倫理的判断と倫理課題へのアプローチ】	講義 グループワーク	
4	3. 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 1) 急性期にある人の特徴 2) 健康破綻による危機状況と危機にある人々への支援 3) 急性期の治療過程にある患者の看護	講義	
5	4. 慢性病とともに生きる人を支える看護 1) 慢性病と慢性病をもつ人の特徴 2) セルフケア・セルフマネジメントへの支援 3) 生活再構築への支援 【演習：自己効力を高める看護教育技術】	講義 グループワーク	
6	5. 学習者である患者への看護技術 1) エンパワメント—エデュケーション 【演習：エンパワメントを引き出す技術】	講義 グループワーク	
7	6. 障害がある人とその生活を支援する看護 1) 障害がある人とのその生活を支援する看護の特徴	講義	
8	7. 様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援	講義	
9	8. 「身近な『成人期』にある大切な人の健康を守ろう！プロジェクト」	プロジェクト学習 個人ワーク	

10		グループワーク	
11			
12			
13		プレゼンテーション	
14		再構築	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 小松浩子・井上智子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論， 医学書院，2018.
評価の方法	筆記試験 60 点 プロジェクト学習をルーブリック評価表で評価 40 点
アドバイス ・その他	学習したことを活用し、グループで協同しながら成人学習者として探究的・ 主体的に取り組むことを期待します。

令和 3 年度作成時からの変更理由

1. 令和 4 年度から始まった健康支援論の実施内容と、成人看護学概論の授業進度を検討し、両科目の住み分けおよび、つながりを円滑に行うために内容を整理し、前半の講義（演習）の順序、時間数を変更した。
2. 後半のプロジェクト学習は、「身近な『成人期』にある大切な人の健康を守ろうプロジェクト」として、成人期の理解、看護を学ぶ意義、健康への視点を中心とした学習や観察力、客観的情報の獲得等を学ぶとともに、1年生の知識でも大切な人の健康を守ることに役立つことを実感し、自己効力感が高まることにつなげる。  
これらのことに加え、プロジェクト学習の 8 つの基本フェーズに沿って進めるため、当初 4 コマで設定していた時間数を 6 コマに拡大した。

授業科目	成人看護学 方法論 I	講師名	安納秀一 佐藤 代枝 佐藤 優子 星野 三奈		単位 1 単位	時期 2 年次前期
					時間 30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師		
科目目標 1. 呼吸器系に障害をもつ成人の看護が理解できる。 2. 循環器系に障害をもつ成人の看護が理解できる。 3. アレルギー・膠原病をもつ成人の看護が理解できる。 4. 感染症疾患をもつ成人の看護が理解できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授業内容	方法	担当
1	1. 呼吸器系に疾患をもつ患者の看護 1) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の看護	講義	安納
2	2) 肺血栓塞栓症患者の看護 3) 急性呼吸窮迫症候群患者の看護 4) 睡眠時無呼吸症候群患者の看護	講義	
3	5) 肺がん患者の看護	講義	
4	6) 自然気胸患者の看護 【演習：呼吸器系の障害のある患者の看護 吸引、酸素療法、排痰法 (体位ドレナージ)】	講義 演習	
5	【演習：胸腔ドレーンの管理】		
6	1. 循環器系に疾患をもつ対象の看護 1) 虚血性心疾患患者の看護 (1) 安定冠状動脈疾患患者の看護 (2) 急性冠症候群患者の看護	講義	佐藤 代枝
7	2) 急性心不全患者の看護	講義	
8	3) 不整脈患者の看護 (1) 薬物療法 (2) ペースメーカー装着患者の看護	講義	
9	4) 感染性心内膜炎患者の看護 5) 動静脈系疾患患者の看護	講義	
10	2. 心臓リハビリテーションと看護	講義	
11	1. アレルギー・膠原病の疾患をもつ患者の看護 1) 気管支喘息患者の看護	講義	佐藤 優子
12	2) 全身性エリテマトーデス患者の看護	講義	
13	1. 感染症疾患をもつ患者の看護 1) 免疫力の低下、易感染状態にある患者の看護	講義	星野
14	2) HIV感染症エイズ患者の看護 3) 敗血症患者の看護	講義	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 浅野浩一郎・梅村美代志他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器, 医学書院, 2019.</li> <li>2. 松田直樹・上塚芳郎他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器, 医学書院, 2019.</li> <li>3. 岩田健太郎・川口鎮司他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー膠原病 感染症, 医学書院, 2020.</li> </ol>
評価の方法	<p>A+B+C=100 点</p> <p>A : 35 点=呼吸器系 25 点 + 演習 10 点</p> <p>B : 35 点=循環器系</p> <p>C : 30 点=①アレルギー・膠原病 15 点 + ②感染症 15 点</p>
アドバイス ・その他	<p>疾病治療論で学修した知識を土台に疾患をもつ患者の看護について学びを深めます。疾病治療論の復習をして講義に臨んでください。</p>



授業科目	成人看護学 方法論Ⅱ	講師名	石坂美和 小花なつき 福富香江 篠澤立暁 内糸舞弥 境敏一 五十嵐由美 町田恵理子	単位 1 単位	時期 2 年次前期
			時間 30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師		
科目目標	1. 脳神経機能に障害をもつ成人の看護が理解できる。 2. 運動機能に障害をもつ成人の看護が理解できる。 3. 感覚器に障害をもつ成人の看護が理解できる。 4. 血液・造血器に障害をもつ成人の看護が理解できる。 5. 乳房に疾患のある成人の看護が理解できる。				

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 脳神経系に疾患をもつ患者の看護 1) 脳梗塞患者の看護	講義	石坂
2	2) クモ膜下出血患者の看護	講義	小花
3	3) 脳腫瘍患者の看護 4) 下垂体腺腫の摘出術を受ける患者の看護		
4	5) 筋ジストロフィー患者の看護	講義	福富
5	6) 多発性硬化症患者の看護 7) 重症筋無力症患者の看護 8) 筋委縮性側索硬化症患者の看護 9) 髄膜炎患者の看護		
6	1. 運動器系の保存療法、手術を受ける患者の看護 1) ギプス固定を受ける患者の看護 2) 副子固定を受ける患者の看護 3) 牽引療法を受ける患者の看護	講義 演習	篠澤 内糸
7	2. 運動器系に疾患をもつ患者の看護 1) 腰椎椎間板ヘルニア患者の看護 2) 腰部脊柱管狭窄症患者の看護	講義	
8	3) 脊髄損傷患者の看護 【演習：自動運動・他動運動】	講義 演習	
9	4) 骨腫瘍患者の看護	講義	
10	5) 関節リウマチ患者の看護	講義	
11	1. 感覚器に障害のある患者の看護 1) 網膜剥離のある患者の看護 2) 下咽頭がん患者の看護	講義	
12	1. 血液・造血器に疾患をもつ患者の看護 1) 白血病患者の看護 2) 悪性リンパ腫患者の看護	講義	五十嵐

13	3) 造血幹細胞移植患者の看護	講義	
14	乳がんで乳房切除術を受ける患者の看護とリンパ浮腫への対応	講義	町田
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>井手隆文・竹村信彦他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 2019.</li> <li>田中栄・横井郁子他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器 医学書院 2019.</li> <li>渡辺晋一・東藍子・川島弘子他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学講座[12] 皮膚 医学書院 2020.</li> <li>大鹿哲郎・平井明美著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[13]眼 医学書院 2020.</li> <li>小松浩子・生井明浩・松崎洋海他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 医学書院 2020.</li> <li>飯野京子・木崎昌弘他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器 医学書院 2019.</li> <li>末岡浩・鈴木直他著：系統回語学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院 2019.</li> </ol>
評価の方法	<p>A+B+C=100点  A：35点＝脳・神経系（石坂7点・小花14点・福富14点）  B：30点＝運動器系20点＋演習10点  C：35点＝①感覚器10点＋②血液・造血器15点＋③乳房10点</p>
アドバイス・その他	<p>疾病治療論で学修した知識を土台に疾患をもつ患者の看護について学びを深めます。疾病治療論の復習をして講義に臨んでください。</p>

授業科目	成人看護学 方法論Ⅲ	講師名	境 敏一 鈴木恵子 関谷由美子 野澤明美	単位 1 単位	時期 2 年次前期
				時間 30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師	
科目目標 1. 消化器に障害をもつ成人の看護について理解できる。 2. 内分泌・代謝系に障害をもつ成人の看護について理解できる。 3. 腎・泌尿器、男性生殖器に障害を持つ成人の看護について理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 疾患をもつ患者の看護 1) 食道がん患者の看護	講義 演習	境
2	2) 胃がん患者の看護	講義	
3	3) 潰瘍性大腸炎とクローン病患者の看護 4) 腸閉塞患者の看護	講義	
4	4) 大腸がん（結腸がん・直腸がん）患者の看護 【演習：ストーマ管理】	講義 演習	
5	5) 急性・慢性肝炎患者の看護 6) 肝硬変患者の看護	講義	
6	7) 胆汁ドレナージを受ける患者の看護 8) 膵炎患者の看護	講義	
7	1. 内分泌系疾患患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護 2) 甲状腺疾患患者の看護 3) アルドステロン症患者の看護	講義	鈴木
8	2. 代謝疾患患者の看護 1) 糖尿病患者の看護 (1) 健康な食（食事療法）に関する援助 ・食事療法と血糖兼コントロール 【演習：単位計算と食事指導】	講義 演習	
9	(2) 薬物療法のある生活への援助 ・インスリン注射の手技 (3) 急性合併症時の看護 ・シックデイ 【演習：簡易血糖測定】	講義 演習	
10	(4) 活動的な生活（運動療法）への援助 ・フットケアの必要性と実際の方法 (5) 慢性高血糖の持続による病気の進行と看護 【演習：フットケアの実際】	講義 演習	
11	1. 疾患をもつ患者の看護 1) IgA 腎症患者の看護 2) ネフローゼ症候群患者の看護 3) 腎盂腎炎患者の看護 4) 膀胱炎患者の看護	講義	関谷 野澤
12	5) 急性腎不全・急性腎障害患者の看護	講義	

13	2. 透析療法を受ける患者の看護	講義	
14	3. 膀胱がん患者の看護 4. 前立腺がん患者の看護	講義	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 南川雅子・永井博司他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ，成人看護学[5] 消化器 医学書院 2019.</li> <li>2. 黒江ゆり子・和田典男他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 2019.</li> <li>3. 今井亜矢子・内田智栄他著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ，成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院 2019.</li> </ol>
評価の方法	<p>A+B+C=100点</p> <p>A：40点=消化器系30点 + 演習10点</p> <p>B：30点=内分泌系20点 + 演習10点</p> <p>C：30点=腎・泌尿器系</p>
アドバイス ・その他	<p>疾病治療論で学修した知識を土台に疾患をもつ患者の看護について学びを深めます。疾病治療論の復習をして講義に臨んでください。</p>

3.専門分野－3) 教授内容

## (5) 老年看護学

## 老年看護学構築の考え方

加齢による生理的機能の変化は外見だけでなく機能的変化となって現れ、健康や生活に影響を与える。さらに、老いの自覚として精神的・心理的变化にも影響を与える。退職等による地位や役割の社会的つながりや伴侶や友人との別れ等から、生き甲斐や喪失感を持ちやすい。しかし、これらの変化には個人差があり個々の対応が必要である。そこで老年看護学は、老年期にある人を統合的に理解し、老年期の特徴をふまえ、高齢者とその家族に応じた看護を実践するための基礎的能力を身につけることを目的とする。

老年看護学概論では、老年看護の意義と役割、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴、健康と生活を支援する保健医療福祉制度実際、高齢者の人権と倫理問題について学ぶ。

老年看護学方法論Ⅰでは、高齢者に起りやすい健康障害の特徴と日常生活を支える支援、尊厳を守る排泄援助、高齢者が起こりやすい症状に合わせた清潔保持、高齢者の睡眠の特徴に合わせた援助、高齢者に特徴的なコミュニケーション援助、高齢者が闘病意欲を向上させる援助の方法を学ぶ。

老年看護学方法論Ⅱでは、高齢者特有の疾患、認知症及び手術前後の看護を高齢者の身体的・精神的な特徴を踏まえた看護援助方法を学ぶ。

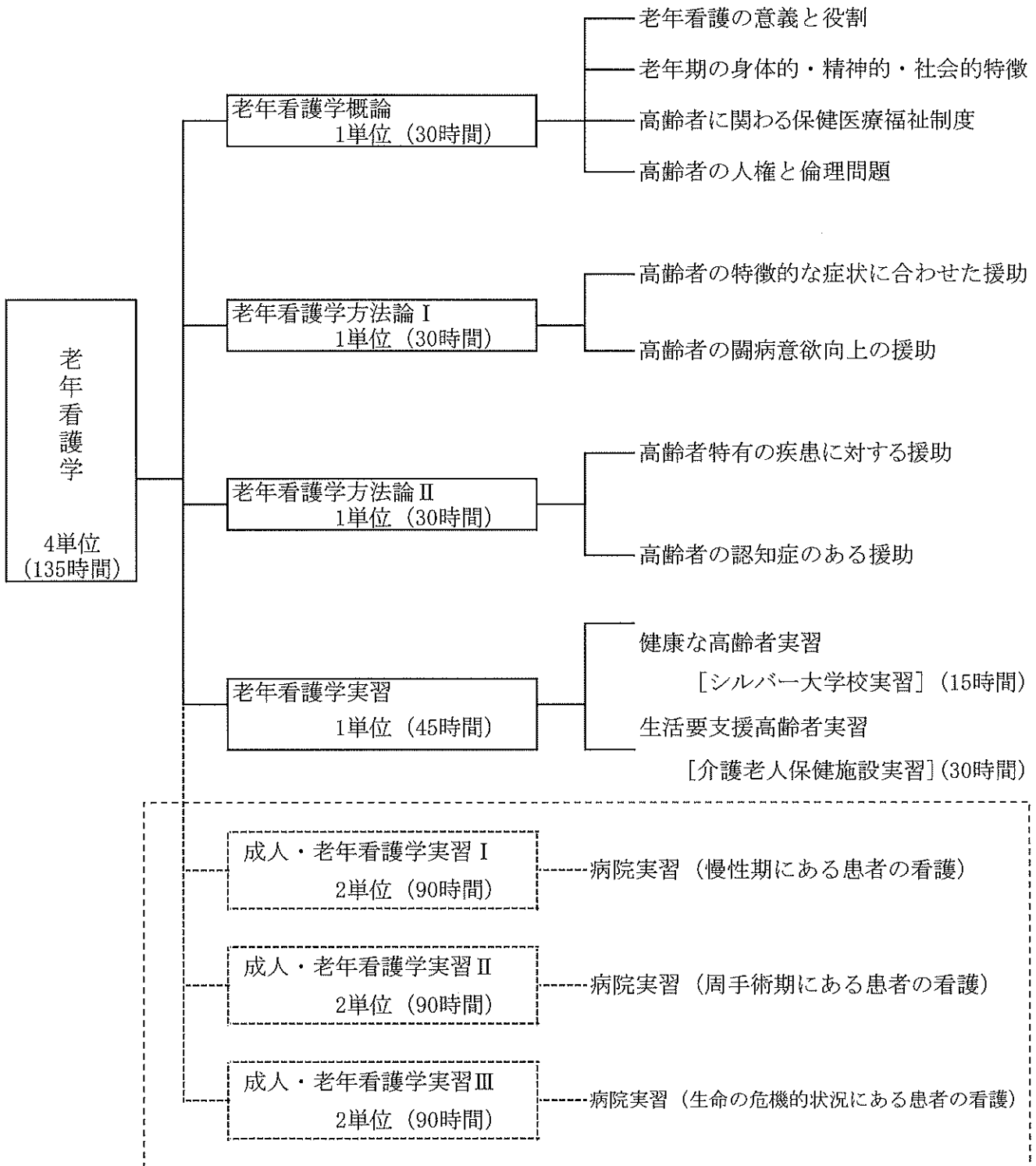
### 老年看護学の目的

老年期にある人を統合的に理解し、老年期の特徴をふまえ、高齢者とその家族に応じた看護を実践するための基本的能力を身につける。

### 老年看護学の目標

1. 加齢による身体の変化や精神的・社会的喪失感をふまえ、老年期にある人々の特徴を理解する。
2. 高齢者のライフスタイルをふまえ、援助の必要性を理解し、基本的な援助技術を身につける。
3. 高齢者とその家族を取り巻く社会の動きを把握し、保健・医療・福祉活動の必要性と看護の役割を理解する。
4. 高齢者の特徴をふまえ、加齢による変化や健康状態に応じた、家族も含めた看護が実践できる。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として老年看護の役割・責任を理解し協働できる。

老年看護学構成と科目のねらい



\*成人・老年看護学実習 I・II・IIIは、成人看護学実習と共通科目として実施する。

授業科目	老年看護学 概論	講師名	柿沼伸枝	単位	1 単位	時期	1 年次 後期
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師			
<b>科目目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年看護学の意義と役割が理解できる。</li> <li>2. 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。</li> <li>3. 老年期にある対象の多様な生活、生活の仕方を理解する。</li> <li>4. 高齢者の健康維持・回復支援の制度が分かる。</li> <li>5. 老年期にある対象の人権と倫理が分かる。</li> <li>6. 高齢者と家族の支援方法が分かる。</li> </ol>							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 高齢者疑似体験	グループワーク・ 個人学習課題	柿沼
2	1. 高齢者疑似体験	グループワーク・ 個人学習課題	
3	1. 老年看護の理念、目標、原則 (1) 老年看護の理念 (2) 老年看護の目標 (3) 老年看護の原則 (4) 老年看護に関わる者の責務	講義	
4	1. 高齢者の構造的・機能的な身体的変化の特徴	講義	
5	1. 老年期の発達課題と精神的特徴 (1) 理論家の発達課題 ① エリクソン ② ハヴィガースト ③ ニューマン ④ レビンソン ⑤ スーパー ⑥ ペック (2) 身近な高齢者の発達課題の考察	講義・ グループワーク・ 個人課題学習	
6	1. 高齢者の社会的特徴・暮らし (1) 家計 (2) 年金 (3) 就労と経済状況 (4) 住まい	講義	
7	(5) 余暇時間の過ごし方・生き甲斐・役割・学習 (6) 人間関係の多様性・近所・家族との付き合い (7) 健康支援の必要性	講義	
8	1. 高齢者の健康と生活を支援する保健医療福祉制度 (1) サクセスフルエイジング (2) プロダクティブエイジング (3) 健康長寿ガイドライン (4) フレイル ① オーラルフレイル ② 8020 運動	講義	



9	(5)サルコペニア (6)ロコモシンドローム (7)ゴールドプラン21 (8)21世紀福祉ビジョン (9)高齢者と住まい (10)地域包括ケアシステム (11)新オレンジプラン (12)介護保険サービス	講義	
10	1. 高齢者を取り巻く健康維持の制度・介護保険サービス内容 (1)学生の出身居住地域の健康維持・介護保険サービス内容	講義・演習 個人課題学習	
11	(1)学生の出身居住地域の健康維持・介護保険サービス内容	演習 個人課題学習	
12	(1)学生の出身居住地域の健康維持・介護保険サービス内容発表	個人課題学習 プレゼンテーション	
13	(1)学生の出身居住地域の健康維持・介護保険サービス内容発表	個人課題学習、プレゼンテーション講義	
14	1. 高齢者の人権と倫理問題 (1)エイジズム(高齢者差別) (2)高齢者虐待 (3)高齢者の身体拘束 (3)成年後見制度 (5)倫理問題演習 2. 高齢者と家族 (1)家族形態と社会的役割 (2)家族への援助 3. 老年看護学概論まとめ	講義・演習	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 北川公子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第5版，医学書院，2023. 2. 鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 第5版，医学書院，2023. 3. 一般財団法人厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2022/2023. 4. いとう総研編：社会保障制度指差しガイド，2023.
評価の方法	筆記試験 80点 課題レポート 10点 演習への参加・プレゼンテーション内容・ループリック評価 10点
アドバイス ・その他	基礎看護学概論、関係法規、成人看護学概論を復習しておく。

授業科目	老年看護学 方法論 I	講師名	柿沼伸枝	単位	1 単位	時期	2 年次 前期
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師			
科目目標 1. 高齢者の移動・姿勢保持の援助方法が理解できる。 2. 高齢者の食事に関する援助方法が理解できる。 3. 高齢者の排泄に援助方法が理解できる。 4. 高齢者の清潔保持をする援助方法が理解できる。 5. 高齢者の睡眠を整える援助を理解する。 6. 高齢者の背景を考慮したコミュニケーションの方法が理解できる。 7. 検査を受ける高齢者の看護が分かる。 8. 高齢者の闘病意欲を向上させる援助が理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 高齢者の日常生活を支える移動・姿勢保持の基本的な援助 (1) 事故防止・転倒防止の為の住環境 (2) 日常生活動作 (3) 転倒防止の為の援助 (4) 高齢者における転倒後の影響 (5) ポジショニング技術 (6) 介護予防・筋力維持・関節可動域拡大の援助	講義	柿沼
2	1. 高齢者の食事時に対する援助 (1) 栄養状態・電解質バランスの把握 (2) 食事前の嚥下訓練 (3) 食事時の体位と誤嚥防止の観察内容 (4) 食後の口腔ケア・義歯の洗浄・口腔内の観察 (5) 食後の体位と食後観察内容と援助 (6) 嚥下スクリーニング	講義	
3	1. 誤嚥の危険性のある症状のある事例演習	グループワーク	
4	1. 高齢者の尊厳を守る排泄援助 (1) 排泄リズムの把握と援助方法 (2) 高齢者の排泄状態の把握 (3) 排尿・排便障害の援助 (4) 排泄用具の活用と倫理 (5) 感染拡大防止の援助	講義	
5	1. 高齢者の清潔を保持する援助 (1) 整容・身だしなみを整える援助の必要性 (2) 高齢者の入浴への影響 (3) 高齢者の症状を把握した清潔援助 (4) 安全な機械浴の援助 (5) 掻痒感のある高齢者への援助 (6) 入浴後の褥瘡のある高齢者への援助	講義	

	(7)感染拡大防止の援助		
6	1. 症状のある高齢者の清潔保持事例演習	グループワーク	柿沼
7	1. 高齢者の睡眠 (1)健康維持の為の睡眠の援助 (2)高齢者の睡眠の特徴 (3)睡眠障害の高齢者の援助 (4)生活リズムの再獲得と睡眠	講義	
8	1. 高齢者のコミュニケーションの援助 (事例) (1)高齢者へのコミュニケーション方法 (2)高齢者の生きてきた時代を反映させる会話 (3)バリデーション・ユマニチュード・回想法 (4)聴力障害・難聴のある高齢者の援助 (5)失語症・構音障害のある高齢者との会話方法	講義 グループワーク	
9	1. コミュニケーションを通して高齢者からの収集方法の実際	演習・ グループワーク	
10	1. 演習の振り返り発表	プレゼンテーション 講義	
11	1. 外来検査を受ける高齢者への援助の事例演習 (1)老年者が受けることの多い検査事例	講義 事例個人課題学習	
12	(2)事例の振り返り発表	プレゼンテーション 講義	
13	1. 闘病意欲を向上させる援助 (1)レクリエーション (2)音楽療法 (3)アクティビティケア	講義	
14	1. 老年看護学方法論まとめ	講義	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>北川公子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第5版，医学書院，2023.</li> <li>鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 第5版，医学書院，2023.</li> <li>亀井智子他：根拠と事故防止からみた 老年看護技術 第3版，医学書院，2023.</li> </ol>
評価の方法	<p>筆記試験 80点 課題レポート内容 10点 演習・プレゼンテーション内容・ループリック評価 10点</p>
アドバイス ・その他	<p>老年看護学概論、成人看護学概論を復習しておく。 演習は、事例の事前学習をして臨む。 高齢者に多い事例は、事前学習をしてプレゼンテーションできるように準備する。</p>

授業科目	老年看護学 方法論Ⅱ	講師名	小湊 涼、 金澤清美 松本麻希子、 佐藤巳奈子 長谷川友子	単位 1 単位	時期 2 年次通年
				時間 30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師・社会福祉士		
科目目標 1. 高齢者に特有な疾患に対する看護援助が理解できる。 2. 認知症のある高齢者の援助が理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 運動器疾患の看護 (1)骨粗鬆症をもつ高齢者の看護 (2)大腿骨頸部・転子部骨折の高齢者の看護	講義	小湊
2	(3)手術が必要な運動器疾患をもつ高齢者の看護	講義	
3	1. 腎泌尿器疾患の看護 (1)尿失禁・排尿障害のある高齢者の看護 (2)前立腺肥大症の手術を受ける高齢者の看護	講義	金澤
4	(3)尿路感染症のある高齢者の看護 (4)泌尿器疾患における看護師の役割	講義	
5	1. 感覚器疾患の看護 (1)高齢者に多い眼科疾患の看護 <1>白内障	講義	松本
6	<2>緑内障 <3>糖尿病性網膜症		
7	1. 脳血管障害の看護 (1)脳血管障害の後遺症(麻痺・高次機能障害)のある 高齢者の看護		
8	1. 神経系疾患の看護 (1)パーキンソン病をもつ高齢者の看護 (2)神経系難病をもつ高齢者の看護	講義	佐藤
9	1. 循環器疾患の看護 (1)虚血性心疾患をもつ高齢者の看護 (2)不整脈のある高齢者の看護	講義	
10	1. 呼吸器疾患の看護 (1)誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者の看護 (2)閉塞性肺疾患のある高齢者の看護	講義	
11	1. 皮膚疾患の看護 (1)多発性褥瘡のある高齢者の看護 (2)疥癬をもつ高齢者の看護 (3)白癬をもつ高齢者の看護	講義	
12	1. 認知症高齢者の看護 (1)認知症の症状 (2)認知症をきたす疾患と治療・看護	講義	

13	(3)認知症の予防 (4)認知症高齢者と家族の支援	講義	
14	1. 認知症サポーター講習会	講義・演習	長谷川
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護・疾病論 第5版，医学書院，2023.
評価の方法	筆記試験 100 点 1. 運動器 15 点・腎泌尿器 15 点・感覚器 15 点、42 分 2. 脳血管・神経系・循環器・呼吸器・皮膚疾患・認知症 55 点、48 分
アドバイス ・その他	老年看護学概論、老年看護学方法論Ⅰ、疾病治療論の授業内容を復習して授業に臨む。

3.専門分野－3) 教授内容

## (5) 小児看護学

## 小児看護学構築の考え方

全ての子どもは、心身ともに健やかに生き、生活できる権利を持っている。子どもにとっての健康とは、家族や社会とのつながりの中で、身体的・精神的・社会的な存在として、それぞれの健康レベルに応じて、健やかな成長発達をとげることである。子どもには、本来自ら学び育つ力が備わっており、その将来はあらゆる可能性にあふれている。しかし、近年、少子高齢化、核家族化が進み、地域社会との繋がりも希薄化しており、子どもを守り育てるための環境は変化している。子どもは未熟さゆえに、身体や心、環境へ問題が生じることで、さまざまな問題に波及し、将来に影響を及ぼす危険性もある。そのため、子どもの特性を十分に理解し、子どもが本題持っている能力を活かせるよう、成長発達を阻害する因子を可能な限り取り除く必要がある。

小児看護では、小児各期の成長・発達を理解し、それらを促すための看護が求められる。そのためには、子どもの健康状態や生活状況などについて、子ども自身やその家族がどのようにとらえているのかに着目し、健康の保持増進に必要な情報を日常のケアやコミュニケーションの中からアセスメントしていくことが重要である。加えて、子どもが自己の体調や健康、さらには自分自身についてどのようにとらえているのかに着目し、子どもの意志を尊重しながら成長発達の中で自ら健康の保持増進を行っていけるよう支援する力が必要となる。

現代の学生も上記で述べた環境の中で生活しており、きょうだいがないことや親戚や地域の子ども達と関わる機会がないことが考えられる。これは小児看護を学ぶにあたり、小児看護の対象である子どもの理解が困難な要因の一つになり、子どもに対する苦手意識にもつながる可能性がある。

これらの視点に立ち、健康な子どもをまず理解し、健康障害をもった子どもの理解、看護へと続くように小児看護学を構築した。

小児看護学概論では、小児各期の成長発達とそれを促すための日常生活援助の方法を学んでいく。また、子どもの思考や言語機能の未熟さから引き起こされる事故を理解し、各年齢に合わせた危険予測と安全対策の必要性と結び付けて考察する。

小児看護学方法論Ⅰでは、医療現場における子どもの権利や倫理について学習する。医療の場において、身体機能の回復または体力の消耗を最小限におさえるために、子どもの成長や心身の発達が阻害されることは、生涯にわたる健康の保持増進の妨げとなることを理解する。その上で、グループワークや演習を通し、子どもが治療・検査・処置を受けることや、入院により母子分離・社会との分離を受けることで及ぼされる影響について考察する。

小児看護学方法論Ⅱでは、具体的な疾患や障害からどのような看護が必要か成長発達だけでなく個性もふまえて考察する。加えて、地域の中で子どもがその子らしく生活していくために、どのような多職種と連携しどのような環境を整える必要があるか、グループで検討していく。

子どもは、様々な部分において発達が未熟である。小児看護学全体を通し、子どもの置かれている状況は、本当にこれで良いのかと考察し、多職種と共に「その子らしさ」を最大限に発揮できる看護を行うための高い倫理観を養うことをねらいとしている。

### 小児看護学の目的

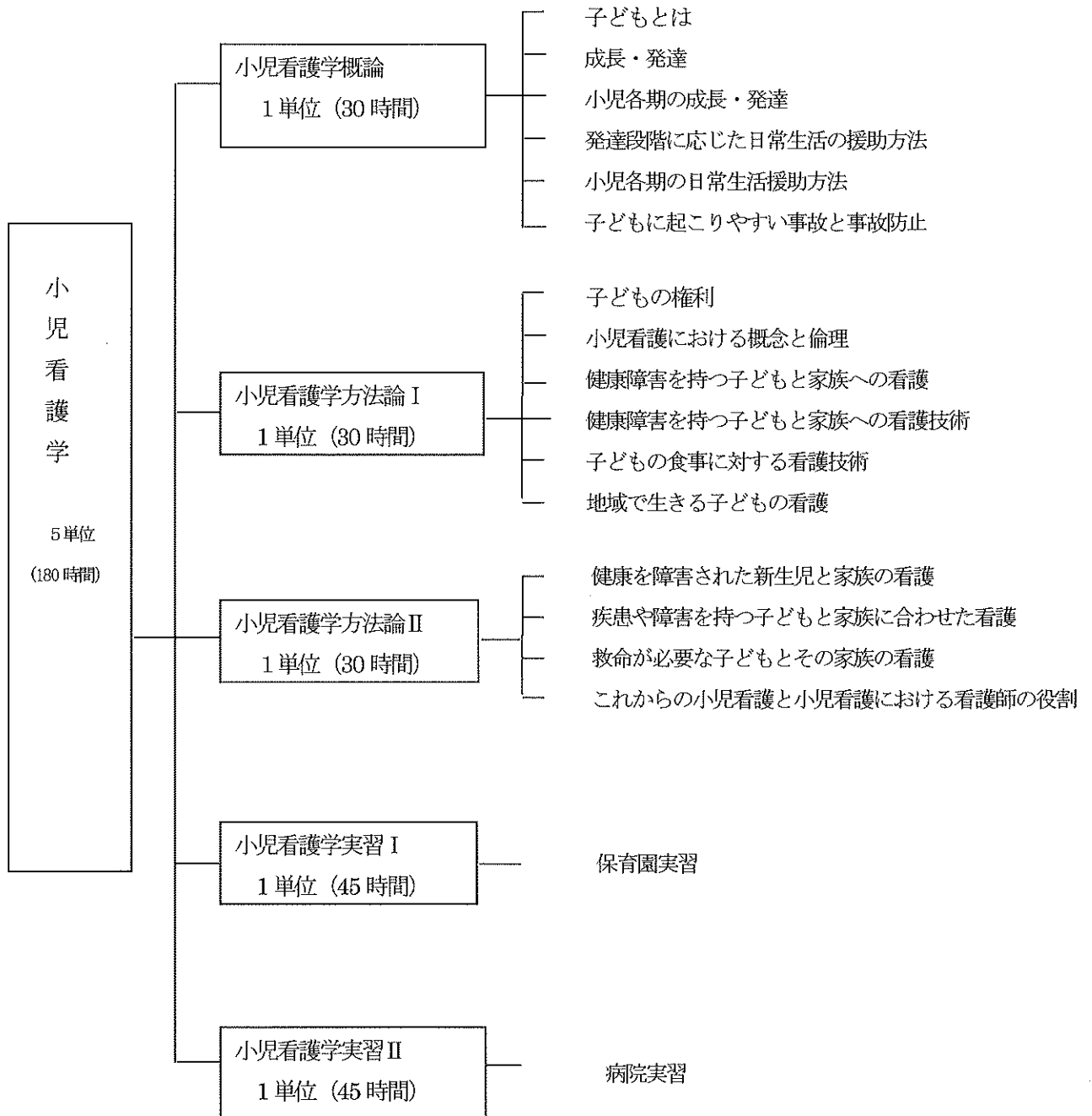
小児各期の成長・発達段階における特徴とその課題を理解し、身体的、精神的、社会的にその子らしく成長・発達していくために、それらに対して影響をあたえる様々な因子を知り、小児とその家族を支援するために必要な看護実践能力を養う。

### 小児看護学の目標

1. 小児各期の成長・発達とそれに必要な日常生活支援について理解できる。
2. 小児を1人の人間として尊重し、倫理的配慮を行うための具体的行動が分かる。
3. 疾患や障害が小児と家族に与える影響について理解し、成長・発達段階と個別性に配慮した看護について具体的に考察できる。
4. 小児看護に必要な基礎的看護技術が習得できる。
5. 症状を示す子どものアセスメントするために必要な知識が習得できる。
6. 多職種と協働し、「その子らしさ」を最大限に発揮できる環境を整えることの必要性が理解できる。



## 小児看護学の構成と科目のねらい



授業科目	小児看護学 概論	講師名	福岡真利奈 兵頭理枝子	単位	1単位	時期	1年次後期
				時間	30時間		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師、保育士			
科目目標 1. 小児看護の対象が理解できる。 2. 小児期の成長・発達原則が理解できる。 3. 小児各期の成長・発達に応じた日常生活援助について理解できる。 4. 小児各期の成長・発達に応じた具体的な日常生活支援の方法が理解できる							

#### 授業内容と方法

回数	授業内容	方法	担当
1	1. 子どもの特徴、小児看護の対象 2. 子どもと家族、社会 3. 子どもにとっての家族とは 4. 子どもの成長発達 (1) 成長・発達とは (2) 成長・発達の進み方 (3) 成長・発達に影響する因子 (4) 成長・発達の評価	講義 グループ ワーク	福岡
2 3	1. 新生児期の成長・発達 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理的特徴 (3) 日常生活援助	講義 グループ ワーク	福岡
4	1. 乳児期の成長・発達 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理的特徴 (3) 感覚機能 (4) 運動機能 (5) 知的機能 (6) コミュニケーション機能 (7) 情緒・社会的機能	講義 グループ ワーク	福岡
5	1. 幼児期の成長・発達 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理的特徴 (3) 感覚機能 (4) 運動機能 (5) 知的機能 (6) コミュニケーション機能 (7) 情緒・社会的機能	講義 グループ ワーク	福岡
6	1. 学童期の成長・発達 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理的特徴 (3) 感覚機能 (4) 運動機能	講義 グループ ワーク	福岡

	(5)知的機能 (6)コミュニケーション機能 (7)情緒・社会的機能		
7	1. 思春期の成長・発達 (1)形態的特徴 (2)身体生理的特徴 (3)感覚機能 (4)運動機能 (5)知的機能 (6)コミュニケーション機能 (7)情緒・社会的機能	講義 グループ ワーク	福岡
8	1. 基本的生活習慣の獲得に向けた関わり 2. 社会的生活習慣・対人関係能力の獲得に向けた関わり	講義 グループ ワーク	兵頭
9 10 11 12 13	1. 小児各期の日常生活援助 各グループで新生児～幼児期の子どもの事例を作成し、これから習得していく日常生活を考え、支援するための援助と発達を促す玩具を作成し、プレゼンテーションを行う。 ※発表に必要な学習内容についての入力フォーマットは、事前に各グループリーダーへ AirDrop で配付する。グループ内で共有し内容を確認した上で授業に臨む。 (1)0～5 ヶ月 (2)6 ヶ月～11 ヶ月 (3)1 歳～1 歳 5 ヶ月 (4)1 歳 6 ヶ月～1 歳 11 ヶ月 (5)2 歳 (6)3 歳 (7)4 歳 (8)5 歳	講義 グループ ワーク 発表	福岡
14	1. 子どもに起こりやすい事故と事故防止 ※チャイルドビジョンを使用するので、事前に自宅で工作し持参する。 (1)幼児の視野体験 (2)各発達段階に多い事故と事故防止	講義 疑似体験 グループ ワーク	福岡
15	筆記試験		福岡

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奈良間美保他：系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第14版, 医学書院, 2020.</li> <li>山村豊他：系統看護学講座 基礎 第6版, 心理学, 医学書院, 2021.</li> </ol> <p>参考書：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>中野綾美他：ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版, メディカ出版, 202.</li> <li>福岡地区小児科医会 乳幼児保健委員会著:乳幼児健診マニュアル 第6版, 医学書院, 2019.</li> </ol>
評価の方法	<p>筆記試験(60点)＋ループリック評価(40点)＝100点</p> <p>※ループリック評価(授業・グループワークの参加状況、課題等の内容)</p> <p>※課題提出状況(未提出・提出期限超過)により減点あり</p>
アドバイス ・その他	<p>参考資料・課題関連資料は AirDrop で共有する。授業参加の際は、必ず iPad を充電し持参すること。</p>

授業科目	小児看護学 方法論 I	講師名	福岡真利奈	単位 時間	1 単位 30 時間	時期 2 年次前期
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師			
科目目標 1. 看護の動向、小児医療・小児看護の変遷について理解できる。 2. 疾患や障害が子どもと家族に与える影響と必要な看護について理解できる。 3. 治療処置を受ける子どもの倫理的配慮を考え、安全・安楽な援助方法について具体的に考察できる。 4. 子どもの倫理的課題を理解し、1人の人間として尊重するために何が必要か考察できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 児童観・育児観の変遷 2. 子どもにおける権利 (1)子どもの権利 (2)小児医療と子どもの権利 (3)小児看護と倫理的配慮 3. 小児看護における概念と理論 (1)ボウルビィ、ピアジェ、マラーイ他	講義 グループワーク	福岡
2	1. 病気・障害を持つ子どもと家族の看護 (1)病気・障害が子どもと家族に与える影響 (2)小児の健康問題と看護 ※インフォームドアセント、プレパレーション含む 2. 検査・処置を受ける子どもの看護 (1)外来における子どもと家族の看護 呼吸困難症状のある子ども(大坂望空ちゃん)の 外来での問診票を確認し、追加で問診する内容と 観察ポイントについて考える。	講義 グループワーク	福岡
3 4 5 6 7 8	3. 子どもの状況(環境)に特徴付けられる看護 (1)入院中の子どもと家族の看護 4. 症状を示す子どもの看護とアセスメント 呼吸器症状のある子ども(大坂望空ちゃん)は、入院となった。電子カルテ、レントゲン写真、紹介状を確認し以下の内容をアセスメントする。 (1)必要な VS、観察項目 (2)呼吸困難 (3)発熱 (4)脱水 (5)成長発達 (6)家族 アセスメントした上でどのような看護が必要か根拠を交えてプレゼンテーションする ※①大坂望空ちゃんの電子カルテデータ、②紹介状、③レントゲン写真、④事例検討資料フォーマットを事前に各グループリーダーへ AirDrop で配付する。グループ内で共有し内容を確認した上で授業に臨む。	講義 グループワーク 発表	福岡

9 10	1. 健康障害を持つ子どもへの看護技術① 呼吸困難があり、説明がないと暴れて泣いてしまう子ども(大坂望空ちゃん)の看護を実践する。実践前には、必ず本人と家族に説明し、同意を得る。 (1)VS 測定(T、P、R、BP) ※乳児の場合も考える (2)呼吸音聴取 ※乳児の場合も考える (3)点滴刺入部の観察 ※乳児の場合も考える (4)苦痛を伴う検査 吸引、採血時の固定・抑制 ※乳児の場合も考える 腰椎穿刺・骨髄穿刺 ※事前に iPad で関連する動画を確認し、授業に臨む (技術だけでなく声掛けもよくみること)	演習 リフレクション	福岡
11 12	2. 健康障害を持つ子どもへの看護技術② (2)全身清拭、更衣、オムツ交換、採尿パック貼付 ※事前に iPad で関連する動画を確認し、授業に臨む (技術だけでなく声掛けもよくみること)	演習	福岡
13	3. 子どもの食事に対する看護技術 (1)調乳、授乳、排気 ※タオル、哺乳瓶(家にある学生)を各自持参する (2)離乳食 (3)病院での食事	講義 グループワーク	福岡
14	1. 子どもの虐待と看護	講義 グループワーク	福岡
15	筆記試験		福岡

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奈良間美保他：系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第14版, 医学書院, 2020.</li> <li>山村豊他：系統看護学講座 基礎 第6版, 心理学, 医学書院, 2021.</li> <li>浅野みどり他：根拠と事故防止からみた小児看護技術 第3版, 医学書院, 2020.</li> </ol> <p>参考書：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>中野綾美他：ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版, メディカ出版, 202.</li> <li>嶋下重彦他：こどもの病気の地図帳 第21版, 講談社, 2019</li> </ol>
評価の方法	<p>筆記試験(60点)+ループリック評価(40点)=100点 ※ループリック評価(①授業・グループワークの参加状況、課題等の内容、②演習) ※課題提出状況(未提出・提出期限超過)、授業態度により減点あり</p>
アドバイス ・その他	<p>小児看護学概論の内容を踏まえての学習となる。各年齢における成長・発達について復習した上で授業に臨むこと。特に DENVER については、ある程度暗記していることが望ましい。 参考資料・課題関連資料は AirDrop で共有する。授業参加の際は、必ず iPad を充電し持参すること。</p>

授業科目	小児看護学 方法論Ⅱ	講師名	福岡真利奈 小山こずえ	単位	1 単位	時期 2 年次通年
				時間	30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師			
科目目標 1. 疾患や障害を持つ子どもと家族の看護について、成長・発達と個別性をふまえて具体的に考察できる。 2. 小児看護の目的と小児看護における看護師の役割が考察できる。 3. 多職種と協働し「その子らしさ」を最大限に発揮できる環境をグループで検討できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1 2	1. 健康を障害された新生児と家族の看護 (1) ダウン症候群のある子どもと家族の看護 (2) NICU で治療が必要な子どもと家族の看護	講義	小山
3 4 5 6 7	1. 疾患や障害を持つ子どもと家族に合わせた看護 (1) 乳幼児下痢症の子どもと家族の看護 (2) 熱性痙攣を起こした子どもと家族の看護 (3) 成長ホルモン分泌不全低身長の子どもの家族の看護 (4) 感染症を持つ子どもと家族の看護 (5) 看護先天性股関節脱臼の子どもと家族の看護 (6) I 型糖尿病の子どもと家族の看護 (7) 川崎病の子どもと家族の看護 (8) ネフローゼ症候群の子どもと家族の看護 (9) 気管支喘息の子どもと家族の看護 (10) 白血病の子どもと家族の看護	講義	小山
8 9	1. 救命救急が必要な小児と家族の看護 (1) 事故・外傷 (2) 救命救急の技術	講義 演習	小山
10 11 12 13 14	1. これからの小児看護と小児看護における看護師の役割 グループで協力し、「子ども病院のパンフレット」をデザインし、プレゼンテーションする。 子どもを取り巻く環境や統計をもとに小児看護の役割について考え、これからの子どもやその家族にとって必要な病院について考える。子どもを見るために必要な職種や病院の環境、そこで必要とされる看護師の役割や、提供したい看護等についてパンフレットにまとめる。 ※パンフレットは、全員カラーで閲覧できるよう、事前に各グループリーダーが他のグループリーダーに AirDrop で共有し、メンバーに共有する。	講義 グループワーク 発表 製作物「子ども病院のパンフレット」	福岡
15	試験		小山

テキスト・評価方法・留意点等

<p>テキスト等</p>	<p>テキスト：                      1. 奈良間美保他：系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論                      小児臨床看護総論 第14版, 医学書院, 2020.                      2. 山村豊他：系統看護学講座 基礎 心理学, 第6版, 医学書院, 2021.                      参考書：                      1. 中野綾美他：ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護                      第6版, メディカ出版, 2021.</p>
<p>評価の方法</p>	<p>A+B=100点                      A:80点=筆記試験(授業回数1~9の内容)(小山)                      B:20点=ループリック評価(グループワークの参加状況、パンフレット内容)(福岡)                      ※課題提出状況(未提出・提出期限超過)授業態度により減点あり</p>
<p>アドバイス ・その他</p>	<p>小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰで学習した内容を復習し、それを活用しながら授業に臨むこと。                      福岡の授業について、参考資料・課題関連資料はAirDropで共有する。授業参加の際は、必ずiPadを充電し持参すること。</p>